

学校教育推進室だより

東大阪市教育委員会 学校教育推進室 平成 27 年 2 月 6 日
〒577-8521 東大阪市荒本北一丁目 1 番 1 号 TEL06-4309-3268~9

- 東大阪市学校教育基本目標
すべての子どもに生きる喜びとあすをつくる力を
- 東大阪市学校教育重点目標
 - 総合的視点に立つ教育の推進
 - 人間尊重に徹した人権教育の実践
 - 信頼に応える学校園経営
 - 学校園・家庭・地域の協働

子どもが自ら学ぶための『環境』『習慣』『授業』づくり ～東大阪市教育フォーラムより～



平成 27 年 1 月 24 日（土）東大阪市立市民会館にて、東大阪市教育フォーラムを開催しました。市民会館に会場を移して 6 年目となった今回も、約 1000 人の保護者・市民・教職員の参加がありました。

今年度のオープニングは、「豊かな表現力の育成」をテーマに、枚岡幼稚園全園児による合唱、高井田西小学校 5・6 年生児童によるリコーダー奏、柏田中学校 1・2 年生有志による創作ダンス、日新高等学校吹奏楽部によるステージマーチングが披露されました。元気いっぱいの合唱、さわやかなハーモニーの合奏、息の合った創作ダンス、迫力あるマーチングに、会場からたくさんの拍手がわき上がりました。幼稚園から高等学校まで、様々な表現活動を通して心豊かに成長する子どもたちの学びの積み重ねを見ることができました。

第一部では、幼・小・中学校それぞれから、本市の学力向上テーマ「子どもが自ら学ぶための『環境』『習慣』『授業』づくり」に沿った報告がありました。まず成和・北宮・若江幼稚園（3 園合同）からは、幼児期における運動遊びの意義をふまえながら、

子どもたちが夢中になって主体的に体を動かしたくなる環境構成の工夫や、遊びの充実についての報告がありました。次に石切小学校からは、学校総体としての

“授業スタンダード”づくり、具体的には、思考力・判断力・表現力を高めるための意図的・継続的な授業（学び）の積み重ねについての実践報告がありました。最後に太平寺中学校から、生徒と教職員が常に上をめざし、『教科学力・学びの基礎力・生活力』の 3 つの力（太平寺トライアングル）を相互作用させながら学力を高めていくための具体的な取組みの報告がありました。どの学校園も、子どもたちの実態や課題を踏まえて、将来を見据えた創意工夫ある取組みを行うことで成果をあげており、他の学校園にとって参考となるものでした。



第二部では、東大阪市教育委員会を代表して、学校教育推進室指導主事より「東大阪市の学力向上施策 7 年間の検証する」と題して報告を行いました。タブレット機器を活用し、保護者代表の方々をはじめ、会場の参加者にも問題を解いてもらいながら、今、求められている PISA 型の学力について紹介しました。また、平成 26 年度 全国学力・学習状況調査の分析結果や東大阪市の学力向上施策に触れ、東大阪市がめざすべき方向性を保護者・市民と共に考えるワークショップをいきました。

本フォーラムを通して、家庭・地域・学校がそれぞれの立場で「子どもの学力向上のために何ができるか」について考えることができました。





獣医師による出前授業



本年度も獣医師による出前授業を開催しています。この事業は、大阪府獣医師会所属の学校飼育動物担当委員の獣医師の先生と学校教育推進室が連携し、希望する学校園に対して平成16年度より実施しています。

出前授業では、はじめに「動物(主にウサギ)と仲良くなるにはどうすれば良いか。」ということについて、パワーポイントを使ってわかりやすく説明してもらいます。(ウサギが主ですが、飼育している動物に合わせて、アヒルや烏骨鶏の事についても詳しく教えてもらいます。)

その後、抱いたり、なでたりなど動物に触れ、聴診器を使ってウサギの心音を聞くとともに、自分や友だちの心臓の音と聞き比べます。動物の温かさを感じ、聴診器から伝わってくる心臓の鼓動を聞くことは、命を直に感じる貴重な体験となります。お話の中で「動物の立場に立って、どんな気持ちなのか考える。」という事を繰り返し子どもに伝えます。



ある幼稚園でのエピソードです。園で飼っているウサギが病気になってしまい、子どもたちはとても心配していました。いつもお世話になっている獣医師の先生にみて頂き、治療を続ける中で、様子を見に来ては「早く良くなってね。」と声をかけたり、絵を描いてゲージに貼ったりなど、ウサギを思いやる姿が見られたとの事でした。

そして出前授業当日、子どもたちは大好きなウサギを元気にしてくれた獣医師の先生に会えるのをとても楽しみにし、各クラスでお礼のメッセージを作り、獣医師の先生に渡しました。プレゼントをもらった獣医師の先生もとても喜んでおられました。動物の飼育活動を通して、命の大切さだけでなく多くの事を学び、豊かな心が育まれている事をとても嬉しく思いました。

この出前授業を通して、「どんな生き物にも”たった1つの大切な命”があることを実感すると同時に、相手の事を思いやり、相手の立場に立って考えることの大切さに気づき、行動できることを願っています。

【本年度実施校】長瀬北小、英田北小、縄手小、北宮幼、弥刀東小、枚岡東小、八戸の里東小、石切小、意岐部小、枚岡幼、縄手南幼、藤戸小

年末年始より、東地区で度々ニホンザルの目撃情報があり、園児児童生徒への注意喚起をお願いしていたところです。現在は、他市へ移動したとの事ですが、今後も野生動物が住宅地に出没する事も予想されます。飼育動物も野生動物も、命ある動物であることに変わりはありません。今後も、市として市民への啓発活動を行うとともに、対策を講じていくとの事ですが、子どもたちにも、命ある動物への接し方を伝えていきたいと思います。



「いじめ撲滅宣言」が行われました

平成27年1月9日、中学校生徒会による「いじめ撲滅宣言」が市役所18階大会議室にて行われました。

はじめに、全26中学校の生徒会の代表者が、これまでの「いじめ撲滅宣言」にかかわる各校の取組みを紹介しました。その後、いじめ撲滅宣言文を野田市長に、また、「いじめ防止」に向けたパネルボードが西村教育長に手渡されました。



野田市長からは、「善悪を自分で判断することの大切さ」についてや、これから「いじめ撲滅」に向けた取組みを進めていくにあたり励ましの言葉など、多くのメッセージをいただきました。